

第 5 学 年 体 育 科 学 習 指 導 案

5 年 1 組 指 導 者 紀 村 修 一

単 元 いいね、仲間って（体の動きを高める運動）

1 本単元でめざす子どもの姿について

対象と向き合う子どもの姿【対】	自己と向き合う子どもの姿【自】	他者と向き合う子どもの姿【他】
○チームの力を発揮するための作戦を考えながら、繰り返し運動に取り組んでいる。	○チームの中で自己の力を発揮するための役割を考えたり、よりよい動きをめざして運動に取り組んだりしている。	○自他の心と体の違いを理解し、多様な他者を受け入れようとしている。

2 めざす子どもの姿を実現するために

本学級の子どもたちは、体ほぐしの運動において、手軽な運動に楽しく取り組み、心と体の関係に気付いたり、仲間とかかわり合ったりする中で、多様な他者と共に運動する価値（共生の視点）に触れた。このような子どもたちが、異校種の仲間と共に運動に取り組む。このことは、多様な他者と共に運動する価値を実感し、理解することにつながるであろう。

本単元は、体力向上をめざして、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動に取り組む学習である。ここでは、子どもが用具操作に難しさを感じやすいことから、巧みな動き（調整力）の高まりをめざしてパラリンピック種目「ボッチャ」を扱う。そして、それを異校種の仲間と取り組む学習を意図的に設定する。そうすることで、ボール運動の学習において、自己の力を制御しながらボールを操作したり、オリンピック・パラリンピックがめざすスポーツの意義や価値に触れたりすることにつながると考えるからである。ただし、異校種の他者と共に運動することは、子どもにとってよさと同時に難しさもある。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- チームの成長をめざして、いろいろな体の動きを高める運動に取り組むよう促す。そうすることで、チームの力を発揮するための作戦を考えながら、繰り返し運動に取り組むことができるようにする。【対】
- 自他の心と体の違いを踏まえた作戦を考えている子どもを価値付けたり紹介したりする。そうすることで、自他の心と体の違いに気付くことができるようにする。【他】
- 自他の作戦を振り返り、次の作戦を考える時間を設定する。そうすることで、チームの全員が活躍できる作戦における自己の役割を自覚することができるようにする。【自】

3 本単元の目標

- 体の動きを高める運動に楽しく取り組むことをとおして、体の動きを高めたり、仲間と豊かにかかわり合ったりすることができるようにする。
- 多様な他者と共に体の動きを高める運動に取り組む価値を実感したり、楽しさや喜びを味わったりすることができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○体の動きを高める運動の行い方を理解し、体の動きを高めたり、仲間と豊かにかかわり合ったりすることができる。	○自他の心と体の状態に応じて運動の行い方を工夫したり、自己や仲間の考えた作戦を他者に伝えたりしている。	○体の動きを高める運動に積極的に取り組んだり、仲間と助け合って運動したりしている。

5 指導計画（全 5 時間）

第 1 次 いろいろな体の動きを高める運動に取り組む（2 時間）

第 2 次 幼稚園児や中学生と「ボッチャ」に取り組む（3 時間）【本時 2 / 3】

6 本時案 【令和元年11月22日 10:25~11:15 中学校体育館】

- (1) ねらい 異校種の仲間と「ボッチャ」に取り組むことをとおして、調整力を高めたり、多様な他者と共に運動する価値を実感したりすることができるようにする。
- (2) 学習過程※下線は3つの向き合う姿が表れている子どもの意識 [A、Bは・と同じグループの子ども]

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 準備運動をし、学習のめあてを確認する。(8分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動への関心 <p>2 「ボッチャ」に取り組む。(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整力 ・仲間とのかかわり ・チームの特徴に応じた作戦 ・共生の視点 ・スポーツの意義や価値 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力アップタイム」が始まったよ。 ・どうすれば相手を取りやすいかを考えて「ボール回しゲーム」を楽しむことができたよ。ナイスチームワークだね。 ・ついに幼稚園児や中学生と共に試合だ。 ・1試合2分間で、玉を投げる順番やタイミングはチームで決めるのだね。 <p>A みんな、一生懸命がんばろうね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Xチームと試合だ。いくぞ。がんばったけれど負けてしまったよ。 ・<u>よく見ると的から離れた所にたくさん玉があるね。もっと近付けたいな。【対】</u> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どうすれば、的に玉を近付けることができるかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生は玉にスピンをかけて速さを調整していたよ。すごい。真似してみよう。 ・幼稚園児が、投げ方は分かるけれど、できないと言って困っているよ。 <p>B <u>そうだ、まず中学生が玉を投げて壁を作ったら、幼稚園児も私たちも安心して投げられそうだよ。【他】</u></p> <p>A その作戦いいね。もう1度Xチームと勝負だ。チームで協力してがんばるぞ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作戦が成功して勝ったぞ。うれしいな。 	<p>○チームの成長をめざして、「ボッチャ」に取り組むよう促す。そうすることで、チームの力を発揮するための作戦を考えることができるようにする。【対】</p> <p>○自他の心と体の違いを踏まえた作戦を考えている子どもを価値付けたり紹介したりする。そうすることで、自他の心と体の違いに気付くことができるようにする。【他】</p> <p>○自他の作戦を振り返り、次の作戦を考える時間を設定する。そうすることで、チームの全員が活躍できる作戦における自己の役割を自覚することができるようにする。【自】</p>
<p>3 本時の学習を振り返る。(12分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の成長と変容 	<p>A Bさんの作戦のおかげで、チームの全員が活躍できて楽しかったよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>相手の玉をはじくXチームの作戦が気に入ったよ。僕が的に近い相手の玉をはじくから、みんなは的にねらってるね。【自】</u> ・違う年齢の仲間と運動するのは楽しいな。 	

気に入った作戦は何ですか？次の作戦は何ですか？



(3) 板書計画

11/22 いいね、仲間って

「ボッチャ」→パラリンピック

- ・2分間
- ・投げる順番やタイミング

作戦

どうすれば、的に玉を近付けることができるか考えよう!

(振り返り)

- ① お兄ちゃんと楽しくできた
- ② うまく投げられるようになった
- ③ チームに合った作戦を考えた

共生